

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	人間福祉学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院)

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部ミッションステートメントの教育目的・方針とカリキュラム構成(科目群)の関連性、および、学部カリキュラム編成における体系性と授業科目を再検討する。	→ 報告書の作成。	—	B	A	A	A
2. 高い実践能力の涵養という教育目的と各授業科目の適合性や妥当性を評価する。	→ 学生・実習先・インターンシップ先による評価、評価報告書の作成。	—	C	B	B	B
2010年度以降に設定した「目標」						
	→					
	→					

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 本学部は、2009年度～2013年度の中期的な目標を立てて、カリキュラム検討委員会を中心に、学部ミッションステートメントの教育目的・方針とカリキュラム(科目群)の関連性、および学部カリキュラム編成における体系性と授業科目の再検討に努めてきた。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か カリキュラムを2012年度から再編し、社会福祉士・精神保健福祉士といった専門家養成と地域社会における福祉の向上に貢献する市民養成という二方向での人材養成を特徴づけるとともに、各学科の特質を反映させた。これにより、学生の多様な学びのニーズに対応することができている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、教育目的とカリキュラム体系を連動させるため、カリキュラム委員会で継続的に検証を続ける。	☆
		その他	☆

目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 本学部は、2009年度～2013年度の中期的な目標を立てて、カリキュラム検討委員会を中心に、高い実践能力の涵養と授業科目の適合性や妥当性の評価に努めてきた。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 実習先およびインターンシップ先による評価報告書や、学生による「授業に関する調査」を通して概ね達成できている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続きカリキュラム委員会において授業科目の適合性や妥当性の評価について、点検を重ねていく。	☆
		その他	☆
備考			☆